



五高だより

第二号 令和三年十一月十五日発行



情報満載のホームページも御覧ください。



感染症対策を講じて 学習成果発表会を実施

十月二十六日から十月二十八日までの三日間、学習成果発表会を行いました。今年度は、九月に文化祭（五高祭）を実施する予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、時期と方法を変更するとともに、外部からの参加を遠慮していただく形での実施となりました。

例年どおりの実施が難しい中、各クラスや部活動等の団体ごとに工夫をし、動



夏季休業等を利用して、多くのクラスでオリジナル動画を作成

1年生は、各自が捉えたSDG sに関する写真を展示



五高キャラクター 「ムサ」と「サビ」紹介



時折登場するこのキャラクターですが、五日市にはムササビが棲んでいるということから生まれた、五日市高校のオフィシャルキャラクターです。五高とまちをつなぐ、架け橋となることを目的として、数年前に本校の生徒によって制作されました。

ムササビの兄弟で、行動するときは2匹一緒に行動します。よろしくお願ひします。

家庭科部の皆さんの作品特徴をよく捉えています。



た。ESS国際交流部、演劇部、科学部、家庭科部、軽音楽部、吹奏楽部、ダンス部等の様々な部活動や探究活動の成果発表、様々な団体の動画による発表や展示がありました。これまでにない取組でしたが、生徒の努力と工夫により素晴らしい行事になりました。この行事で得たものを今後につなげてまいります。

のらぼう菜 育てています

十月四日から三日ほどかけて、JA秋川のらぼう菜の方に御協力いただき、学校の空いた土地に畑を作りました。十月七日に植えたのらぼう菜は一か月経ちぐんぐんと大きく育っています。今では大きな葉っぱが畑からあふれ出しそうなくらいになっています。これを素材にして、探究できるとよいと考えています。



警視庁や消防庁から、感謝状を受章

十月には、防災に関する取組や救急救命に関する資格取得等、これまでの本校の取組に対して消防庁秋川消防署長から感謝状を頂いております。今後も地域のお役に立てられるよう、学校全体で取り組んでまいります。



十一月四日、夏季休業中に警視庁五日市警察署からの依頼を受け生徒有志が協力し作成した特殊詐欺被害防止の取組が評価され、警視庁五日市警察署長から感謝状を頂きました。大変光栄なことです。振り込め詐欺防止の注意喚起の音声が行われる音声機器は、現在でも様々な銀行や郵便局のATMに設置されています。入店すると音声の流れており大変活躍しています。

<東京都立五日市高等学校が目指す生徒像>

広い視野を持ちながら新しい社会に対応するとともに、地域貢献できる生徒、地域を愛し地域から愛される生徒

発行者 東京都立五日市高等学校 校長 久保田 聡

住所 〒190-0164 あきる野市五日市894 電話 042-596-0176 ファクシミリ 042-596-1250

URL : <http://www.itsukaichi-h.metro.tokyo.jp/zen/index.html>



マネジメント類型

地域において就業学習を初めて実施

九月三十日、十月七日、十月十四日の三日間、マネジメント類型選択者が、6か所に分かれて就業学習を行いました。村尾組、ラトリエサクラ、秋川国際マ釣り場、鍼灸・シェアサロンTEEDA、ふるさと整骨院、シビルエンジニアリング（敬称略）の皆様に大変感謝です。

就業学習は、五高として初めて取り組む内容で、準備段階から多大な協力を各事業所様に頂き、実現することができました。今回、改めて「地域の皆さまのおかげで教育ができています」と感じています。また、担当者が実習中の生徒に声掛けをする中で、マネジメント類型が目指す、商品の企



画から販売の一連の活動を学ぶ「就業学習」が実現できていると感じています。実習中、生徒は緊張している様子でしたが、真剣に作業に取り組んでいました。十一月十一日には、就業学習成果発表会を開催しました。人とのつながりの大切さや社会は支え合って成り立っていることなど、紙面には書ききれないほどの思いを、皆それぞれが感じ、今回、その思いを共有することができました。皆の発表を聞いていて、きつと、この経験を今後の高校生活に生かしていけると確信しました。



三年生探究活動でパン屋さんの魅力に迫る

十月二十九日の放課後、三年生は、総合的な探究の時間に立てたグループの仮説を検証する活動を行いました。三年生の探究のテーマは「地域活性化」です。

あるグループは、地域のパン屋さん



の魅力に着目し、「SNSを使えばお店がもっと広まる」「従業員は、ご飯よりもパン派である」という仮説を立てました。自分たちで立てた仮説を立証するために、実際に

お店に行き、店長への取材や商品の味の調査等を行っていました。生徒たちは、本格的な取材が初めてだったのでドキドキしていましたが、お店の方の協力のおかげで無事に終えることができました。

総合的な探究の時間では、このような一連の活動を体験的に学ぶことで探究スキルを身に付けていくことを目標としています。今回の取材を踏まえてまとめたことを



一月に予定の成果発表会において、社会への提言としてまとめていきます。

十月二十八日、アウトドア類型選択者は、今年度二回目の林業実習を「MOKKIの森（檜原村）」で実施しました。今回も前回同様、東京チェンソーズの方々を外部講師として活動を行いました。秋晴れの中、とても気持ちの良い一日を過ごすことができました。

【道づくり】

「斜面を危険なく歩くためにはどのようなコース取りが必要か」などを作業前に生徒同士よく考え話し合った上で、外部講師の方にお聞きし確認をとりながら実践しました。



【薪割り】

今回初めての体験で、危険が無いよう丁寧に教えていただきました。最初は慣れで力の入れ方が分からない様子でしたが、徐々に気持ちよく割れるようになってきました。



【ティピ解体作業】

大型のティピーテントの解体作業を全員で行いました。初めて見る大型ティピに興味津々でした。解体は思った以上に大変でしたが、みんなで力を合わせて実施することができました。



アウトドア類型

檜原村の森林で林業実習を体験

